



校 報

さくら

第87号

宍粟市立

はりま一宮小学校

学校教育目標

「こころ豊かにたくましく
自ら学ぶ児童の育成」

本年度のテーマ

子どもが主体的に学ぶ
学校文化の創造

二〇二六年の始めに

校長 浅田 和典

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えられたこととお喜び申し上げます。旧年中は、本校の教育活動にひとかたならぬご支援を賜り、誠にありがとうございました。本年も職員一同、子どもたちのためにより良い教育活動を創造・推進していきます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、皆さんは身近な数字に興味をもたれることがありでしょうか。私は、中学校で数学の授業を担当してきたこともあり、数学史や数字に興味があります。おもしろい数学ネタは、興味・関心を引き出すきっかけになることがあるからです。

そこで、今年の西暦二〇二六という数字について調べてみると、四桁の大きな数であるにもかかわらず、素因数分解の結果が二×一〇一三となる非常にシンプルな数でした。一〇一三という大きな素数をもっているため、約数が四つだけの数です。約数が少ない大きな数は、現代の「公開鍵」としてインターネットやクレジットカード決済などの暗号技術に使われています。超巨大な鍵となる数を作ると、元の数を素因数分



解して個々の素数特定することが非常に困難になるからです。それは、素数の出現に規則性が見つかりにくいことを利用しています。また、この二〇二六という数は、各位の数字をそれぞれ二乗して足す操作を繰り返すと最終的に一になる「ハッピー数」と言われる数でもあるようです。この大きな素数をもつ美しい数二〇二六を度々目にするようになる今年。一人ひとりが夢や希望をもって、幸せに生きることのできる年になることを祈ります。

ところで、今年の暦の干支は午ですが、さらに六十年に一度の丙午の年でもあります。前回の丙午の一九六六年には、出生数が大幅に減少したことが記録に残っています。その原因は、丙午生まれの人についての迷信が広まったからだと言われています。生まれてきた子どもが迷信の影響を受けることを心配し、生み控えなどがあったようです。今ではそのような迷信を信じる人はいないと思いますが、命の誕生という人生の大きな喜びに水をさしたこの迷信が、当時何故信じられてし



まったのかと不思議に思います。

そこで、その迷信について調べてみると、江戸時代初期の丙午（一六六六年）頃の生まれとされる女性に関する話が物語として創作されたようです。それが歌舞伎・講談・浄瑠璃などで恋物語として世に広まってきました。さらに、昭和の時代になっても、ドラマや映画、歌謡曲や演歌の題材にもなり、さらに、新聞や雑誌、テレビやラジオでも伝えられたようです。つまり、大昔に作られた物語が、まるで史実のごとく伝えられ、情報が時代ごとに加工され、信じられてしまったようです。

一九六六年頃の社会の状況を振り返ると、一



九六五年の同和対策審議会答申に「同和問題の早急な解決は、国の責務であり、国民的課題である」と初めて明記された時代です。つまり、人権課題の克服が叫ばれ、社会や学校等における人権教育が本格的に始まった頃であり、言い伝えや迷信などにとらわれず、科学的な物の見方や考え方を大切にしていこうとした時代でした。今では、社会教育や学校教育、家庭教育等によって、科学的で多面的な物の見方が定着しています。

これからも、過去の歴史から学び、枠にとらわれるのではなく個性や多様性を尊重する社会、そして、一人ひとりが人生を純粋に謳歌することができる社会であることを願います。

三学期も、地域の皆様の温かいご支援をよろしくお願い致します。

※写真は、学習発表会の様子です。



1月の行事予定

- 16日(金) PTA常任理事会・理事会
- 17日(土) 市書き初め展(はがてらす)18日まで
- 22日(木) 中学校体験入学(6年生)
- 29日(木) 一宮南中学校入学説明会(6年生)



学校運営協議会

2月の行事予定

- 6日(金) 授業参観・学級懇談会
- 13日(金) はりま一宮小学校入学説明会・体験入学
- PTA常任理事会・理事会
- 27日(金) PTA新旧三役会



3月の行事予定

- 11日(水) 中学校体験入学(6年生)
- 13日(金) PTA新旧常任理事会
- 24日(火) 卒業式
- 25日(水) 終業式・修了式

